

シコタンソウ

ユキノシタ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

Saxifraga cherlerioides D.Don var. *rebunshirensis* (Engler et Irmsch.) Hara

国カテゴリー

該当なし

選定理由

県内では生育地がごく限られており、現存個体数も極めてまれである。(現況:RO)

形態

地上茎は短く、暗紅紫色を帯び、細長い小さな葉を密生する。葉はやや肉厚で、縁にはたくさんの開出する剛毛がある。茎頂に1~10花からなる集散花序を出す。花弁は白色または淡黄色で中央には黄色、上部には紅色の斑点が見られる。

国内分布

北海道、本州中部以北。

県内分布

南加賀区、白山高地区。

生態など

高さ2~15cmの小形多年草である。開花期は7~8月。根茎は細かくはってよく分枝し、短い地上茎を多数出して大きな株をつくる。イワベンケイや地衣類などが群落に加わることがある。

生育環境

標高1800~2600mの高山帯の日当たりのよい岩場に生育する。

危険要因

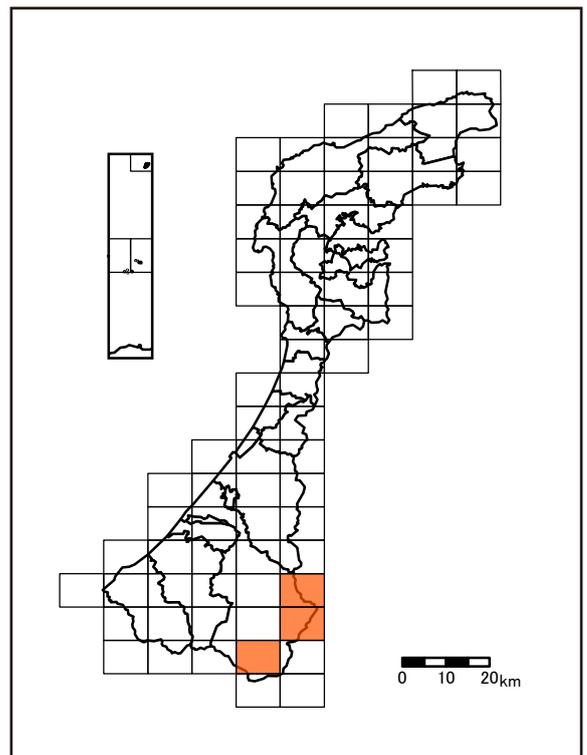
園芸採取、自然遷移、産地局限、その他(岩場の崩壊)。

特記事項

生育地は白山国立公園内にある。



白井伸和・2008年7月1日・白山



県内の分布